

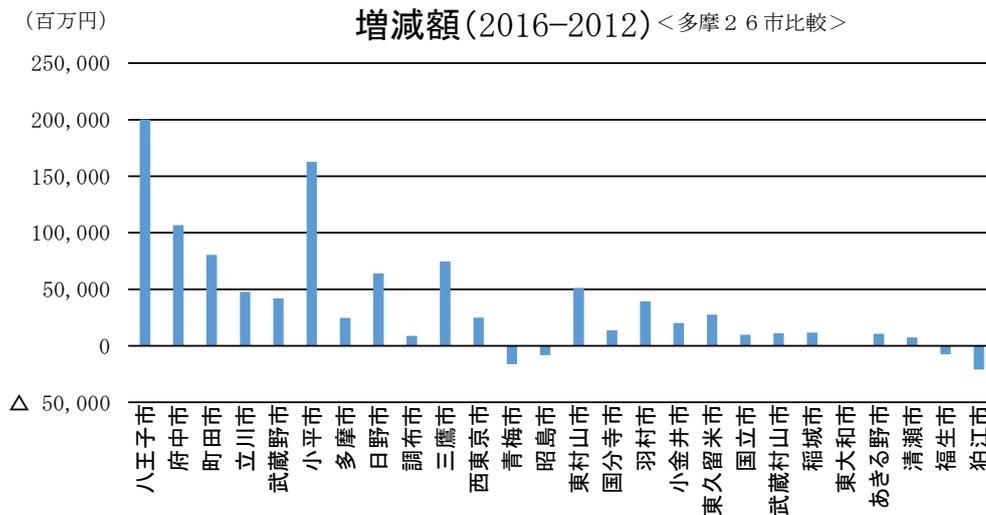
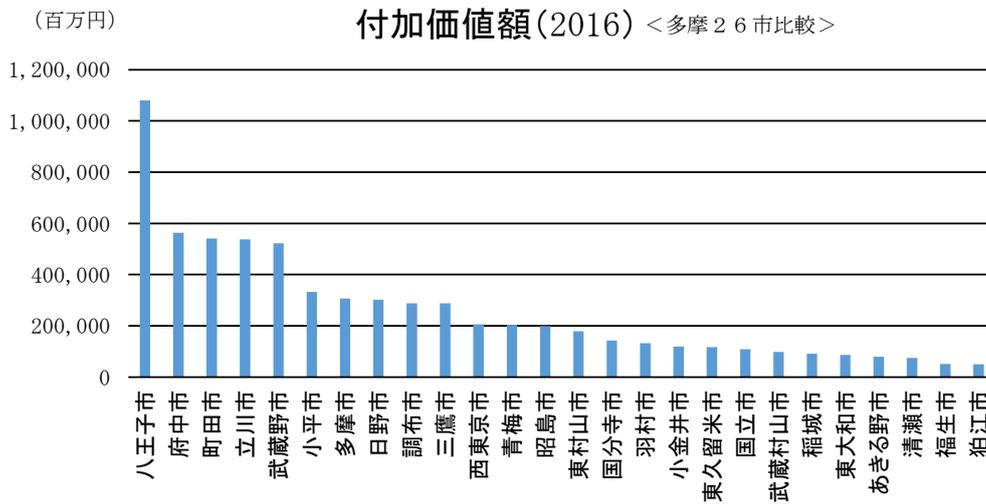
## 指標の設定について

### 1 計画全体の指標

**付加価値額**（現状値<2016年>：541,596百万円、目標：↑）

**【設定の理由】**

- ・市内企業等の経済活動によって新たに生み出された価値の総額であり、産業振興全体（商業・観光業・農業を含む）の成果を図る指標として適していると考えため（市GDPと類似）。
- ・経済センサス（活動調査）によって概ね4年に1回調査されることから、定期的に成果を把握することができるため。
- ・2018年3月に国が公表した「稼げるまちづくりを支援する包括的政策パッケージ2018」において、各地域が設定するKPIの選択肢例として挙げられている。



出所：総務省統計局 「経済センサス」

## 2 柱ごとの指標

### (1) 「立ち上げる」チャレンジ

○指標：**開業率**（現状値<2014~2016年>：6.4%、目標：↑）

市内の起業・創業を支援する事で、開業率を向上させる。

町田市及び近隣市の開業率

	都市名	開業率		
		2012年~2014年	2014年~2016年	
1	多摩市	10.0%	立川市	7.4%
2	町田市	8.2%	町田市	6.4%
3	立川市	7.5%	多摩市	5.3%
4	八王子市	7.1%	八王子市	5.2%
5	相模原市	6.6%	相模原市	4.6%
	東京都	8.5%	東京都	6.2%
	全国	6.3%	全国	5.0%

出所：総務省統計局 「経済センサス」

### (2) 「拓げる」チャレンジ

○指標：**1事業所あたり付加価値額**（現状値<2016年>：5,070万円、目標：↑）

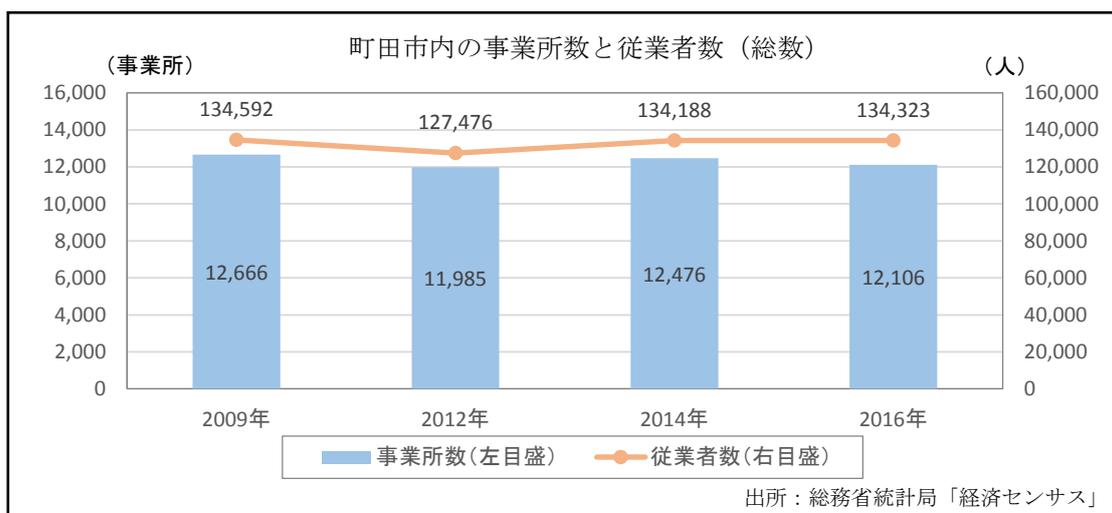
新分野への進出、強みを磨く取り組み等を支援する事で、高い付加価値を生み出す事業者を増やす。

※2016年：13位/多摩26市

### (3) 「つなぐ」チャレンジ

○指標：**事業所数**（現状値：12,106事業所<2016年>、目標：→）

事業承継、生産性向上など、事業を続けていくために必要な経営基盤の強化に関する取り組みを支援し、人口減少が進む中でも市内事業者数を維持する。



(4) 「ビジネスをしやすい、働きやすいまちづくり」

○指標：昼夜間人口比率（現状値：91.7%＜2015年＞、目標：↑）

働きやすい環境を整え、町田市内で働く人を増やすことで、昼間人口比率を上げる。

昼間・夜間人口、昼夜間人口比率＜多摩26市比較＞

順位	昼間人口		夜間人口		昼夜間人口比率(%)	
1	八王子市	576,240	八王子市	577,513	立川市	114.2
2	町田市	396,333	町田市	432,348	武蔵野市	108.7
3	府中市	245,693	府中市	260,274	多摩市	101.0
4	立川市	201,294	調布市	229,061	八王子市	99.8
5	調布市	197,864	西東京市	200,012	国立市	97.8
					町田市(9)※	91.7

※( )内は順位

出所：総務省統計局「国勢調査」(2015年)